

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

調査票		調査日時	年月日	時	調査番号			
		地震名又は降雨災害名						
被害発生場所	都道府県 地区 団地				市郡 丁目 番号 区町村			
所有者・管理者氏名			記入者氏名	TEL:				
所有者・管理者の連絡先	TEL:		居住者への説明	<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 居住者不在 <input type="checkbox"/> 老人独居住宅				
<被災状況図>					<input type="checkbox"/> 応急措置 <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 被災無 <input type="checkbox"/> 簡易記録			
1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損	7.崩壊
8.張出し床版付擁壁の支柱の損傷	9.基礎及び基礎地盤の被害	10.排水施設の変状					建物・道路との位置関係(基礎点)	
							<p>影響範囲外(B) 影響範囲(A) 影響範囲外(B) 1.OH 1.7H</p>	
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。								
被災写真の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→写真番号 []							
特記事項								

擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	□L(逆T)型	□重力式	□増積み擁壁	増積部分		m 増設高	m
		□コンクリート系擁壁	□もたれ式		擁壁部分	全擁壁高		
		□その他						
		□場所打ち	□プレキャスト	□一段擁壁	上部			
		□練石積擁壁	□間地石		下部			
		□その他			上部高	m ; 下部高		m
		□空石積擁壁	□玉石積	□くずれ石積	□張出し床版付擁壁	□その他		
		□その他			擁壁の設置条件	□切上・盛土境	□軟弱地盤上	□他 □不明
					擁壁の勾配	度	又は (1 :)
基礎点				□影響範囲に建物または道路がある	□影響範囲に建物または道路がない(B)			
	①湧水	乾燥		0	0			
		湿潤		0.4	0.2			
		にじみ出し、流出		0.8	0.4			
	②排水施設	水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透阻止		0	0			
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい		0.4	0.2			
		水抜孔無、あっても数・寸法が不適当		0.8	0.4			
	③高さ	H≤1m		0	0			
		1m < H ≤ 3m		0.2	0.1			
		3m < H ≤ 4m		0.4	0.2			
		4m < H ≤ 5m		0.6	0.3			
		5m < H		0.8	0.4			
区分		程度		小	中	大		
	項目	擁壁種類	コンクリ	練積	増積	2段	張山	空積
	1 クラック		1	2	3	4	5	
	2 水平移動		2	2.5	3.5	4	6	6
	3 不同沈下・目地の開き		3	3.5	4	5	7	
	4 ハラミ			4.5	5	6	7	9
	5 傾斜・倒壊		5	5.5	6	7	8	
	6 拥壁の折損		6	6.5	7	8	9	
	7 崩壊			9	9	10	10	
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷				7			
	9 基礎及び基礎地盤の被害					10		
	10 排水施設の変状			3		5		7
	11 拥壁背面の水道管等破裂					10		
変状の程度 大・中・小の概要説明	項目/程度		小	中	大			
	1 クラック(幅)	2 mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合 2 mm未満)。	2mm~20 mm未満 (コンクリート系擁壁の場合 2mm~5 mm未満)	20 mm以上 (コンクリート系擁壁の場合 5 mm以上)				
	2 水平移動 (伸縮目地前後のずれ)	5 mm未満の隙間(変位)がある。	5 mm~50 mm未満の隙間(変位)がある	50 mm以上の隙間(変位)がある				
	3 不同沈下・目地の開き (目地上下・左右の開き)	5 mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。	5 mm~50 mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。	50 mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。				
	4 ハラミ (テンショングラック・ずれ・中抜け)	小規模のハラミ及び中抜け(積行が1~2個抜け落ちる)	宅地地盤にテンショングラック無し 円弧すべりのおそれ無し	宅地地盤にテンショングラック有り 円弧すべりのおそれ有り				
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合: 天端 50 mm未満の傾斜)	擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コンクリート系擁壁の場合: 天端 50 mm以上の傾斜)	擁壁が前傾・倒壊してその機能を失っているもの。				
	6 拥壁の折損 (横・ななめひびわれから起きるもの。はらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	クラックを境にわざかに角度をなしている。 (コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわざかに前傾している。)	クラックを境に明らかに角度をなしており、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。 (コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)	一見して大であると判るもの。 (コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1 mmでも剪断破壊があり後傾している。)				
	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。	基礎部を残して滑っている。	機能を果たしていない。				
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷	支柱にひびが入っている。	支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。	支柱の剪断破壊。				
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。						
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。	左に加え擁壁のクラック又は目地からの湧水がある。	水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失われている。				
	11 拥壁背面の水道管等破裂	破裂して水が流出している。						
被害の判定値		基礎点 + 変状点 + = 点	☆被害程度の点数と危険度判定☆					
※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・変状点の記載無し			無被害： 0 点(防災上問題無し) 小被害： 1 ~ 4.5 点未満 (当面は防災上問題無し) 中被害： 4.5 点 ~ 8.5 点未満 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害： 8.5 点 ~ (危険、要避難、立入禁止)					
危険度判定		□天 □中 □小 □無	大被害： 8.5 点 ~ (危険、要避難、立入禁止)					
所見(記入者の意見)	緊急度	□大 □中 □小	(人命・財産・交通の3点を判定基準とする。)					
※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	□有 □無 □判断不可	(備考：)					